

[文書のタイトルを入力]

退任挨拶

全日本中学校長会会長 松岡 敬明

昨年の五月、この場で会長就任の挨拶をしてから早一年。今、退任の時を迎えました。駅伝に例えるなら、細谷前会長から「全日中会長」の襷を受け継ぎ、第38区を駆け抜け、今、伊藤新会長に襷をつなぎ次の第39区をお任せしたという思いです。微力ながら、会長としての職務を全うできましたのも、副会長はじめ各県の理事の皆様、部長・副部長・幹事の皆様、そして事務局の皆様の絶大なご協力があったからこそ、感謝の思いで一杯であります。ありがとうございました。心より厚く御礼申し上げます。

また、私が全日中会長を務めることをお認めいただき、「全面的に支援します」とのお言葉を頂戴しました、宮崎活志 武蔵野市教育委員会教育長及び武蔵野市教育委員会事務局の皆様、そして勤務先であった武蔵野市立第一中学校教職員の皆様にも、深く感謝申し上げます。会長を支援するという事は、すなわち、全日中の活動そのものを支えることに他なりません。まさに、会長である私を支えてくださったすべての方々のおかげで、この一年間の全日中の活動を展開することができたと感謝しています。

「不易流行」という言葉があります。これは、松尾芭蕉が見出した俳諧理念の一つですが、一般的に不変のものを「不易」、その時代によって変わるものを「流行」と表現することがよくあります。私たち中学校長、そして全日本中学校長会における不易流行とは何でしょうか。今、我が国の教育を取り巻く状況は、たいへん速いスピードで、かつ大きく変わりつつあります。このような中で、私たちは何が「不易」で何が「流行」なのかをしっかりと見極め、変わるべき点、そして変えるべき点に対して、適時制をもって対応しなければならないと考えています。進化論で有名なダーウィンは、次のような言葉を残しています。「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるでもない。唯一生き残れるのは、変化できる者である」

結びになりますが、伊藤俊典新会長の下、全日本中学校長会が、変化することに躊躇することなくますます発展されますこと、そしてすべての会員の皆様はじめ関係の方々の御健勝・御活躍を心よりお祈り申し上げ、退任の挨拶といたします。

ありがとうございました。